

科目名	道徳教育論 A, B	形態	単独	開講期	春・秋
担当教員	吉川 範行	単位	2	年次	3

＝授業科目の目標＝

- ・子どもの道徳性をどのように育成するかという観点から、道徳教育の理念と実践について具体的事例を交え、その在り方を理解することができる。
- ・道徳の時間における指導を工夫し、実践することができる。

＝履修の条件と学習の方法＝

- ・教職免許取得上の必修科目である。教師になろうという強い気持ちが根底にあること。子どもの心の問題について学び、その解決の一端を道徳の授業から考え、具体的な指導法を進んで工夫すること。
- ・講義が中心となるが、道徳の授業については演習形態をとる。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス（講義内容、計画、方法等について）・読み物資料について
- 2回 学習指導要領解説について・道徳学習指導案の作成 I
- 3回 とっておきの話①・道徳学習指導案の作成 II
- 4回 とっておきの話②・道徳科の目標
- 5回 とっておきの話③・指導案検討
- 6回 とっておきの話④・道徳科の内容
- 7回 模擬授業①・板書の工夫
- 8回 模擬授業②・道徳と音楽
- 9回 模擬授業③・「私たちの道徳」の活用
- 10回 模擬授業④・道徳で使える音楽①
- 11回 模擬授業⑤・道徳で使える音楽②
- 12回 模擬授業⑥・道徳で使える音楽③
- 13回 模擬授業⑦・道徳教育の歴史
- 14回 模擬授業⑧・道徳教育の問題点と課題
- 15回 模擬授業⑥・まとめ（道徳教育について学んだこと）

＝成績評価の方法と評価の基準＝

- ・意欲的に学び、考えようとする姿勢を評価する。
- ・講義内でのレポート内容を評価する。
- ・道徳内容項目の指導の観点について理解を深め、道徳学習指導案の作成に積極的に取り組む姿勢と、指導案の内容を評価する。

＝テキスト（必携）＝

- ・中学校学習指導要領解説 道徳編 文部科学省 平成29年度末に出版された新版